

RFMD ニュース



会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com

rfmd.com

RFMD の EDGE パワーアンプが世界最薄のスライド式携帯電話をサポート

サムスン電子「ウルトラエディション」の超薄型携帯 SGH-D900 に採用

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年1月15日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社(ナスダック: RFMD)は本日、スライド式携帯電話で世界最薄のサムスン社製SGH-D900「ブラックカーボン」が同社のRF3159リニアEDGEパワーアンプ(PA)を採用することになったと発表した。サムスン社の超薄型携帯ファミリー製品SGH-D900はGSM/GPRS/EDGE対応の4バンド端末で、マイクロSDカード拡張スロット付きMP3プレーヤー、313万画素のカメラ、Bluetooth®ステレオヘッドセット、テレビ出力、鮮明な2.1インチ262Kカラー画面などが付いてあらゆるマルチメディアを楽しめることが特長。サムスン社によるRF3159の採用で業界におけるRFMD社のリーダーシップは更に強固なものとなり、EDGE市場での成長が継続される。

「RFMD社のRF3159は高集積度、高付加価値のRFソリューションで、これを採用するサムスン社は様々な形状による超薄型端末の開発を進め、製品ラインアップを更に拡大することができます。優れたEDGE製品の提供を通じ、当社とサムスン社の関係は更に強化されていくでしょう。」とRFMD社の社長兼CEOのBob Bruggeworthは語る。

「RFMDとサムスンは共同でこの高性能EDGE PAの仕様を決定しました。現在市販されているリニアEDGE PAでこの製品と同等の効率と直線性を持つ製品は他にありません。」とRFMD社のコンポーネント事業部長、Konrad Alvarinoは語る。

RF3159はリニアリティに優れたGSM/GPRS/EDGE用の4バンドPAで、シリコンラボラトリ社、インフィニオンテクノロジー社、NXPセミコンダクタ社などが採用しているリニア構成の送信系を使うEDGEトランシーバ用に設計されている。RF3159 PA モジュールはリニアEDGE PAの市場をリードする6mm x 6mmの小型パッケージで、組み込みが容易なインピーダンス完全整合タイプ。各種の利得と直線性の組み合わせが用意されているため、携帯端末メーカーはリニアリティ、効率、出力電力等の様々な要件に合わせて送信系の最適化が可能となる。なおこのモジュールは824MHz~915MHzおよび1710MHz~1910MHzの両帯域で動作するデュアルモードGSM/GPRS/EDGE携帯端末の送信系最終増幅段を構成するよう設計されている。

RF3159は、EDGEパワーアンプや商業市場においてRFMD社がEDGEトランシーバのトップメーカーの座を守り続けていることを象徴する製品。RFMD社は今後もEDGE携帯端末市場の成長が継続すると見ており、同社の予測によれば2007年の成長率は50%を超えるという。

サムスン電子社について:サムスン電子(Samsung Electronics Co., Ltd.)は半導体、通信、デジタルメディア、統合デジタル技術の世界的リーダーで、親会社による2005年の売上げは567億ドル、純利益は75億ドルを記録した。従業員数は約128,000人、51ヵ国に90ヵ所以上の拠点を持つ同社のビジネスユニットはデジタル機器事業、デジタルメディア事業、LCD事業、半導体事業、通信ネットワーク事業の5本柱で構成されている。サムスン電子は世界的に見ても最も成長の著しいブランドのひとつで、デジタルテレビ、メモリーチップ、携帯電話、TFT液晶のトップメーカーでもある。なお、同社の詳細はwww.samsung.comで紹介されている。

RFMD社について: RF Micro Devices, Inc. RFMD社(NASDAQ RFMD)は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバルリーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001 およびISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comで紹介されている。

このプレスリリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRFマイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###